

住民自治協議会だより

第32号

発行 小田切地区住民自治協議会

〒380-0876
長野市大字山田中2545

TEL 026-229-1511 FAX 026-229-2074
E-mail otagiri-jitikyoku@ngn.janis.or.jp

第3回 小田切地区社会福祉大会 3年ぶり開催

開会



小田切地区社会福祉大会は、平成30年以来3年ぶりに交流センター体育館で11月5日に開催されました。コロナ下で開催も危ぶまれる中、当初計画していた農産物など物販関係は取り止めたが、80名を超える参加者がありました。

大会は、オープニングの長野翔和学園の和太鼓演奏で始まり、地域の活動紹介では中組区と下宮区2地区のお茶のみサロン紹介などありました。講話は、小田切担当佐藤保健師と市交通安全教育講師による「特殊詐欺と交通安全について」の寸劇と腹話術でした。久しぶりの地区全体行事で、大勢のみなさんが参加した大会となりました。

オープニング



お茶のみサロン紹介



寸劇と腹話術



小田切八景制定110年記念 八景切り絵額装

切り絵作家 柳沢京子さん創作

小田切八景は、明治44年制定で110年を迎えました。それを記念して、八景それぞれの切り絵額装を、切り絵作家柳沢京子さんにお願しました。

作品は風景に歌をイメージしながら、現地訪問を加え創作してもらいました。同時に八景をセットにした絵葉書も作りましたので全戸に配布し、この歴史ある名勝を後世に伝えていってほしいと思います。

今後は展示会も計画しており、地区外の多くのみなさんにもこの風景を発信していきたいと考えています。



第三次小田切地区地域福祉活動計画 策定 令和4年度～8年度版



小田切地区地域福祉活動計画は、4年度から第三次計画となるため策定委員会を立ち上げ、第1回委員会を9月8日に開き4年3月発行で進めています。

地域福祉は、住みなれた地域で、家族や友人、ご近所のみなさんと一緒に今までどおりの自分らしい暮らしが続けられる社会を作っていくことです。策定委員は福祉委員会役員を中心に住自協、市社協、支所、安茂里包括のみなさんです。

委員長に福祉委員会の原山希子委員が選任されました。

えにし 薬師寺東塔「縁の瓦」小田切に里帰り

奈良薬師寺東塔の解体修理の際、県内学校名が刻まれた瓦が多数発見され、そこに小田切中学校名の瓦もありました。平成29年に薬師寺より「縁の瓦」と名付けられ信濃教育会に引き渡され、各校に里帰りしましたが、当時小田切中学校は閉校していたため裾花中学校に渡されていました。

今回、住自協から裾花中学校に小田切への里帰りを申し入れ、9月13日に校長室で引き渡されました。しばらく交流センターに展示していますので、実物をぜひご覧ください。その後は小田切中学校記念館で展示保管します。



民生児童委員会 5地区交換研修会 小田切で開催



5地区民児協（小田切、浅川、芋井、戸隠、鬼無里）は、10月6日に青少年錬成センターで交換研修会を開催し、民児協委員26名はじめ39名が参加しました。

研修会は、市保健福祉部の講師が、「人生会議を始めてみませんか？」～もしものときの医療・ケアの心づもり～と題しての講義と、湯山若妻劇団の「特殊詐欺にご用心」の寸劇でした。

閉会は長野翔和学園の和太鼓演奏で、みなさんをお送りしました。

地域間交流会

三輪地区



恒例の三輪地区ひまわり広場の「野菜広場」は、コロナで縮小される中今年も参加しました。好天の10月24日に三輪公民館前広場で、キャベツや夏野菜など販売しました。

芹田地区



芹田地区住自協の「新鮮野菜市」が初雪の11月27日芹田支所駐車場であり、地域間交流として初参加しました。キャベツやリンゴなど販売し葉物野菜が好評でした。

小田切住自協正副各種団体長会 中止

恒例の住自協各種正副団体長会は、例年2月上旬に開催していましたが、依然新型コロナの状況下であり昨年に続き中止を決めました。

景観整備「山里整備隊」の活動 今年度 中学校グラウンドと富士の塔山頂整備

グラウンドは夏祭り会場整備の後に深沢側の枯木や支障枝を伐採。作業は9月24日と落葉後の11月18日に行い、若穂、松代方面から南長野運動公園や千曲市までも一望できます。ぜひ一度訪れてください。

一方、初めての富士の塔山頂景観整備は、11月18日に飯縄戸隠方面の支障木伐採を中心に14名で整備しました。



富士の塔山頂からの飯縄戸隠



グラウンドからの善光寺平

消防小田切分団 教養訓練

消防小田切分団（原田健二分団長）は、令和3年度分団教養訓練を10月17日に、改善センター駐車場で開講しました。

訓練は、ポンプ積載車からの積み降ろしから放水までの一連手順と、ポンプ取り扱いや点検作業でポンプメーカーの指導を受け、もしもの有事に備えました。



協力隊活動

安西元 隊員

NPO小田切エルダーフラワープロジェクトの安西推元隊員は、9月27日に神戸市のサロンにて、「森の妖精の里・小田切エルダーフラワー&ベリー物語」と題し講演しました。今春には、花が見たいと神戸から



エルダーフラワーの里ツアーが計画され、花咲く小田切の山里を訪れます。

酒井 隊員

（株）SATOKAを立ち上げた酒井慎平隊員は、小田切産の長期熟成生ハム「掬月Jamōn kikuzuki」の製造を



仕込み会

12月より開始しました。工房は旧小田切園内にあり、「生ハム原木オーナー」として工房で仕込み体験など募集しています。問い合わせは、小田切支所内酒井隊員まで。

長野翔和学園 東屋建設着工 日方の県道沿い

令和になって日方の鳥瞰図付近に東屋建設を計画し、地区内にある東屋を見学しながら地元の元大工さんたちとも相談を重ね進めてきましたが、コロナ下で活動が延期となっていました。ようやく昨年9月、2年ぶりに打ち合わせを再開し、9月29日に現地で地鎮祭を行い念願の東屋建設に着工しました。

年度内完成を目指し、連日作業を進めています。



地鎮祭

富士の塔山頂 山城跡に工事用仮設道路

富士の塔山頂の山城跡地が、市防災無線鉄塔建て替え工事に伴って、戦国時代上杉勢の物見山、のろし山とされる山頂西側の土塁跡やその下段の曲輪跡がすべて仮設道路となってしまう早急な復元を要します。一方、山頂東側



西側土塁曲輪跡

参道も傷みが激しく、歩幅も広すぎ登りにくく、誰もが歩ける参道に改修が必要です。

サロンサミット 2年ぶりの開催 15サロンが活動報告

小田切地区お茶のみサロンサミットが12月13日開催され、3年度18サロンある中、15の代表者から活動報告がありました。コロナ下で開催した苦労話や会員減少で近所との再編話など活発に意見交換できました。



「お互助っ人」初の移動支援



9/10

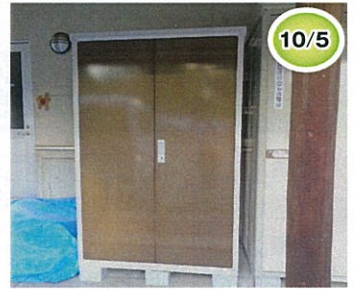
三竈神社裏 通路確保



9/21

枯松伐採

住自協保管倉庫購入



10/5



市初の移動期日前投票（湯山、国見）



10/28

衆院選 国見投票所

長沼支援 野沢菜贈呈



11/10

小野平

「人権を考える住民集会」



12/3

「新地域たすけあい事業」意見交換会 in 小田切



11/16

若槻地区区長部



12/7

中野市社協

やまびこ

新市長が11月11日誕生した。75%ある中山間地域も駆け巡り、ジャンプアップを望む。新事業「お互助っ人」、若槻地区区長部と中野市社協が訪れ現状や課題など情報交換。互いにステップアップを図る。男の社交場「山里整備隊」と「マレットゴルフ会」。整備隊の参加率は7割と好調。マレットも妻科や犀川で数回プレーし、春が来たら整備された中学校グラウンドを練習場にレベルアップを願う。